

レター

～板橋区コミュニティ・スクール(iCS) 地域とともにある学校をめざして～

発行元：教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

令和7年度第1号のiCSレターではiCSとは何かをテーマにお伝えしました。そこで今回は、コミュニティ・スクール委員会(CS委員会)で行われている「熟議」とは何かを紹介します。熟議について知り、CS委員会に取り組んでいることの理解を深めましょう。

iCSレター第1号はこちらの二次元コードから→



「熟議」とは？

熟慮(よく考えること)



協議(話し合うこと)

コミュニティ・スクール委員会(CS委員会)では、学校や子どもたちの課題や実態を共有するとともに、保護者や地域の方と、学校とは違う視点も入れて具体的な解決案を導くために、「熟議」を行います。

一般的な熟議の進め方

- ①テーマについての意見を考え、個人ごとにふせんに書く。
 - ②一人ずつ発表し、グループで共有。
各意見をグループ分けする。
 - ④委員会全体に共有
 - ⑤出た意見の実践・フィードバック
- 💡 異なる立場を生かして協議し、ビジョン・情報を共有します！

熟議のイメージ テーマ「郷土愛を育むには」

郷土愛のある子に育つためには
まず住んでいる地域について
知ってほしいね。

地域をよく知る人に
授業の中でまち探検の
案内をお願い
してもいいかもね。



模造紙やふせんを用いることで、意見をグループ分けしやすく、考えやそのつながりが可視化され、意見がまとまりやすくなります。

様々な熟議のかたち

学校の教員と



子どもたちと



学びのエリア合同



熟議の効果

- ・意見が可視化され、理解の深まりや納得感の醸成につながります。
- ・各委員が持つ知見や経験をもとに発言をするため、多くのアイデアを生み出せます。
- ・全員が発言できる機会を作ることによって委員一人ひとりが主体的に関わられます。

上板橋第二小学校「ほっとルーム」のリニューアルについて

上板橋第二小学校では、令和5年度にすべての児童が教室以外でリラックスして過ごす居場所として「ほっとルーム」が作られました。しかし、元は図書準備室であったことから装飾等もなく、「居場所」としては味気ないという声が挙がっていました。そこで、ほっとルームをより身近な居場所にし、児童が過ごしやすい空間をつくるために、ほっとルームのリニューアルプロジェクトがスタートしました。その取組についてご紹介します。



ほっとルームについてこのような意見が出ていました。そこでCS委員会において学校の課題として熟議を進めていくと…

ヒーリングアートを勉強している大学生の協力が
あれば、より良いほっとルームになるのでは！？

地域コーディネーター
女子美術大学講師

その後、地域コーディネーターの調整により

上二っ子応援団
(学校支援地域本部)

施工



女子美術大学

デザイン案

施工



リンテック株式会社

(区内事業者)

資材提供

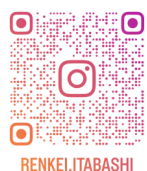
3者が連携し、ほっとルームがリニューアルされました。

コンセプトは「おはなしの森」。
板橋区のブランド戦略の展開である
「絵本のまち板橋」の視点を踏まえて、
ものがたりをテーマに心温まる部屋と
なりました。



Instagram

Instagramアカウントを開設しました！様々な情報を発信しますので、ぜひフォローをお待ちしています！



上二っ子応援団！ホームページ

上二っ子応援団！のほっとルームの詳細はこちらからアクセスできます。
URL: <https://x.gd/Ndn1E>

